

EBC は、日本法令外国語訳プロジェクトのために以下の点を挙げたい:

- ・ 法務省から報告いただいた進捗状況を踏まえると、政府目標を1年延長することが現実的である。
- ・ 直近でも、円安の影響もあって、さらに対内投資や日本企業の海外投資による収益数値の確保の傾向が強まっており、この分野を専門とする日本人弁護士の深刻な不足もあって、日本語ができない弁護士が業務に関わる場面が非常に増えている。その際、現場では、法律レベルだけでなく、細かいガイドラインや政府のレポートなど、公な翻訳がないものを参照する必要がある場合も多く、とりあえず性能の比較的良好なAI翻訳を使ってまずは理解する、ということが行われている。
- ・ 各分野で新しい法律が増えているスピードの速さを踏まえると、このプロジェクトの目標も、和訳する法令の数をとにかく増やすというアプローチから、本当に有用なものを早く英語で見られるようにする、というスピード重視のアプローチにシフトチェンジしても良いのではないかな。
- ・ 併せて、今後、本プロジェクトを加速化させる上では、法令翻訳システムの品質面・機能面の向上が重要であるところ、関係省庁からのアンケート結果を見ると、まだまだ改善すべき点もあるため、AIの性能の改善させるための追加学習方法や他のシステムとの連携等を含め、システムの在り方を検討していくべき。